

第1回 犀川周辺エリア魅力向上整備基本計画検討委員会

日時:令和7年7月7日(月) 9:30～

場所:金沢市役所第二本庁舎 2階 2203会議室

次 第

1. 開 会

2. 副市長挨拶

3. 委員長選任

4. 議 事

(1)事務局からの資料説明

(2)意見交換

5. 閉 会

委員名簿

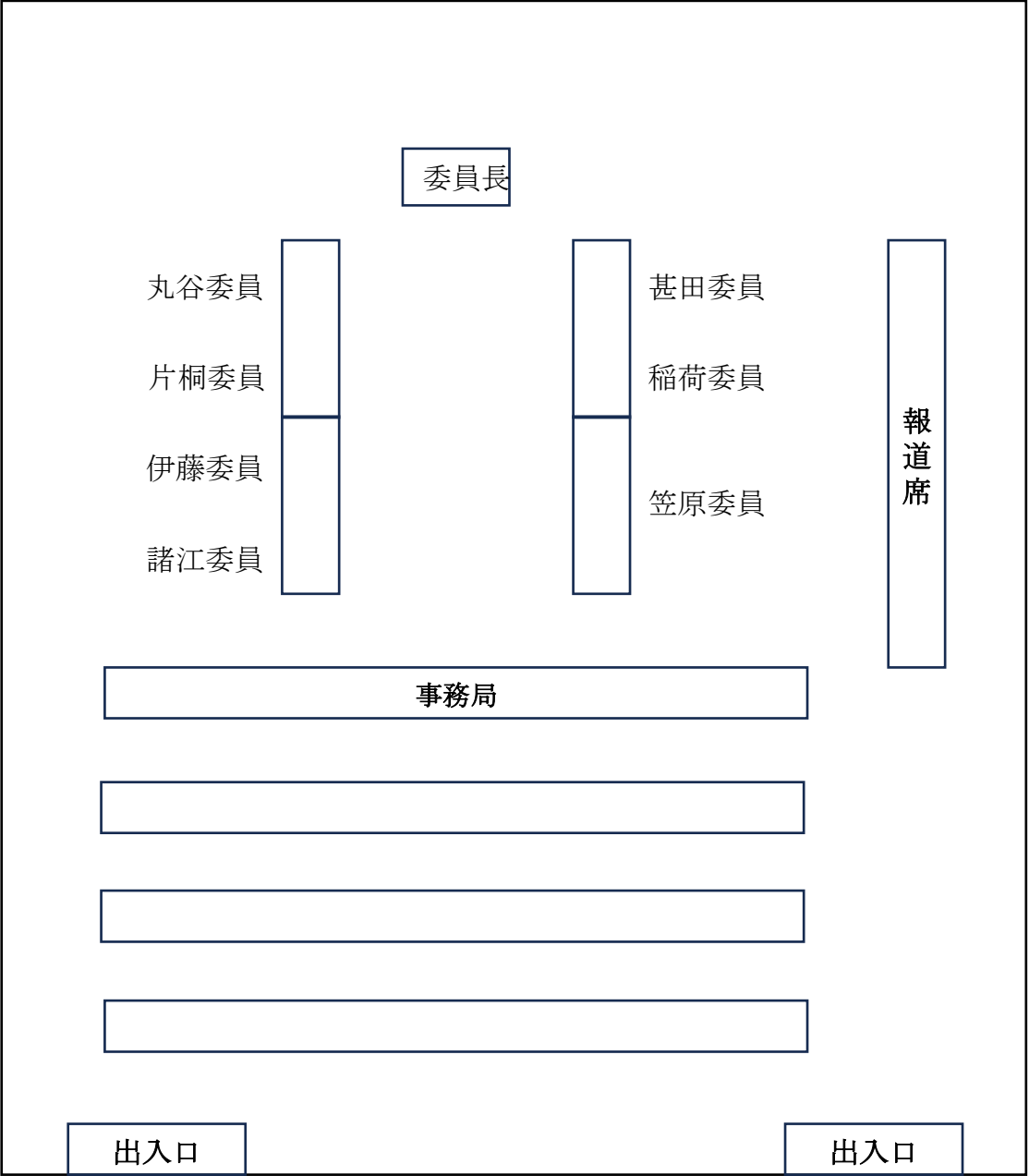
(敬称略)

氏名	団体・役職
丸 谷 耕 太	金沢大学融合研究域融合科学系 准教授
片 桐 由希子	金沢工業大学工学部 准教授
伊 藤 香 織	東京理科大学創域理工学部 建築学科 教授
諸 江 洋	金沢片町まちづくり会議 会長
甚 田 和 幸	新竪町地区町会連合会 会長
稲 荷 明 彦	幸町地区防災まちづくり協議会 会長
石 川 豊	新竪消防分団 分団長
笠 原 颯 馬	未来へつなぐ金沢行動会議 委員

オブザーバー 石川県土木部 河川課
石川県県央土木総合事務所 河川砂防課

事務局 都市政策局企画調整課

座席図



第1回 犀川周辺エリア魅力向上整備基本計画 検討委員会

令和7年7月7日

1. 検討委員会について
2. 犀川周辺エリアの概況
3. これまでの経緯
4. 現状と課題及び方向性（案）
5. 第1回会議における意見交換の論点
6. 今後のスケジュール

(1) 設置の目的

犀川周辺エリアにおける回遊性の向上や新たな魅力の創出に向けた整備基本計画を策定するため、学識経験者や地元関係者等で構成する委員会を設置

(2) 検討事項

- ・ 現況、地域特性、周辺環境等に関する事項
- ・ 市有地の活用や魅力的な夜間景観の創出等による回遊性向上に資する機能及び整備の検討に関する事項等

(3) 整備基本計画の内容

- ・ 整備の基本的な考え方やコンセプト
- ・ 必要な機能や役割

など、今後の具体的な整備の基礎となる方針を取りまとめ

1. 検討委員会について

3

(4) 整備基本計画の対象範囲

「犀川大橋－桜橋間」の周辺道路や緑地等（回遊性の観点で周辺地域も含む）



(1) 犀川



犀川（二級河川犀川水系）

- ・ 流域面積256km²、流路延長41km
- ・ 金沢市街地の中心部を貫流し、
伏見川・十人川・安原川等と合流し日本海に注ぐ
- ・ 豪快な流れと雄大な景観から「男川」の愛称
- ・ まちなかの貴重な親水空間として市民に親しまれる
- ・ 室生犀星など多くの文豪に愛された

(2) 犀川大橋・桜橋



犀川大橋（管理：金沢河川国道事務所）

- ・大正13年 架橋
※鉄橋として国内有数の歴史
- ・平成12年 国登録有形文化財に登録
- ・令和5年 架橋100周年・ライトアップ機器更新

（参考：浅野川大橋・犀川大橋百寿会ホームページ）



桜橋（管理：道路管理課）

- ・明治24年 犀川小橋として架橋
- ・明治31年 桜橋に改名
- ・昭和38年 コンクリート製に架け替え
- ・令和2年 「谷口吉郎・吉生金沢建築館」
完成にあわせライトアップを整備

(3) 犀星のみち・桜橋右岸下流河岸緑地



桜並木ライトアップ実証実験の様子
(令和7年4月 犀川利活用推進協議会)

犀星のみち (管理：道路管理課)

- ・ 桜橋右岸詰－室生犀星碑－犀川大橋－清川町－桜橋左岸詰の1,500m区間
- ・ 市政400年を記念し、市民の応募により「文学のみち」として選ばれる
- ・ 右岸約400mに県管理の桜（ソメイヨシノ）20本が並ぶ



桜橋右岸下流河岸緑地 (管理：緑と花の課)

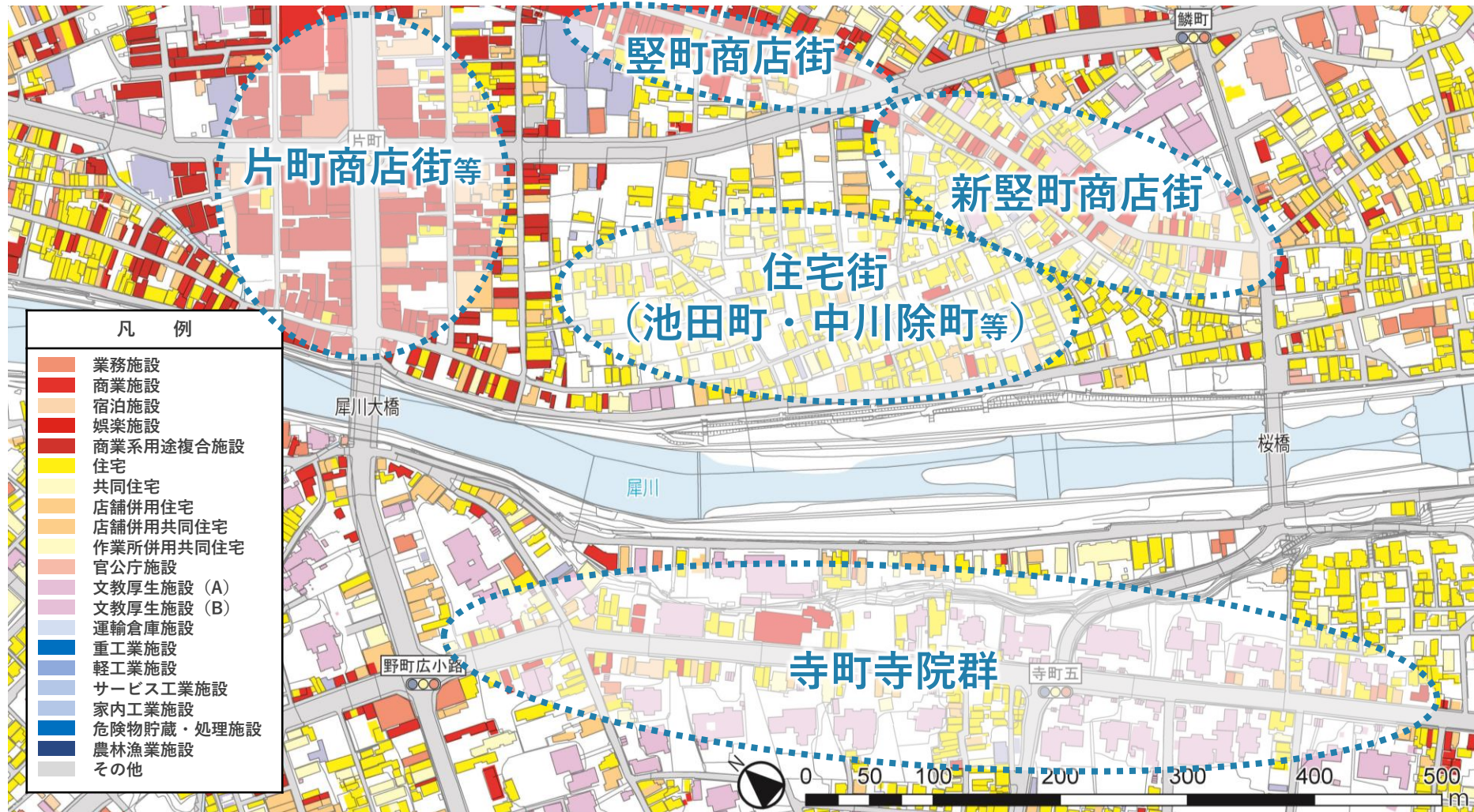
- ・ 敷地面積 786.87㎡
- ・ 用途地域 近隣商業地域
- ・ 建ぺい率 80%
- ・ 容積率 300%
- ・ 高度地区 20m

2. 犀川周辺エリアの概況

7

(4) 土地利用

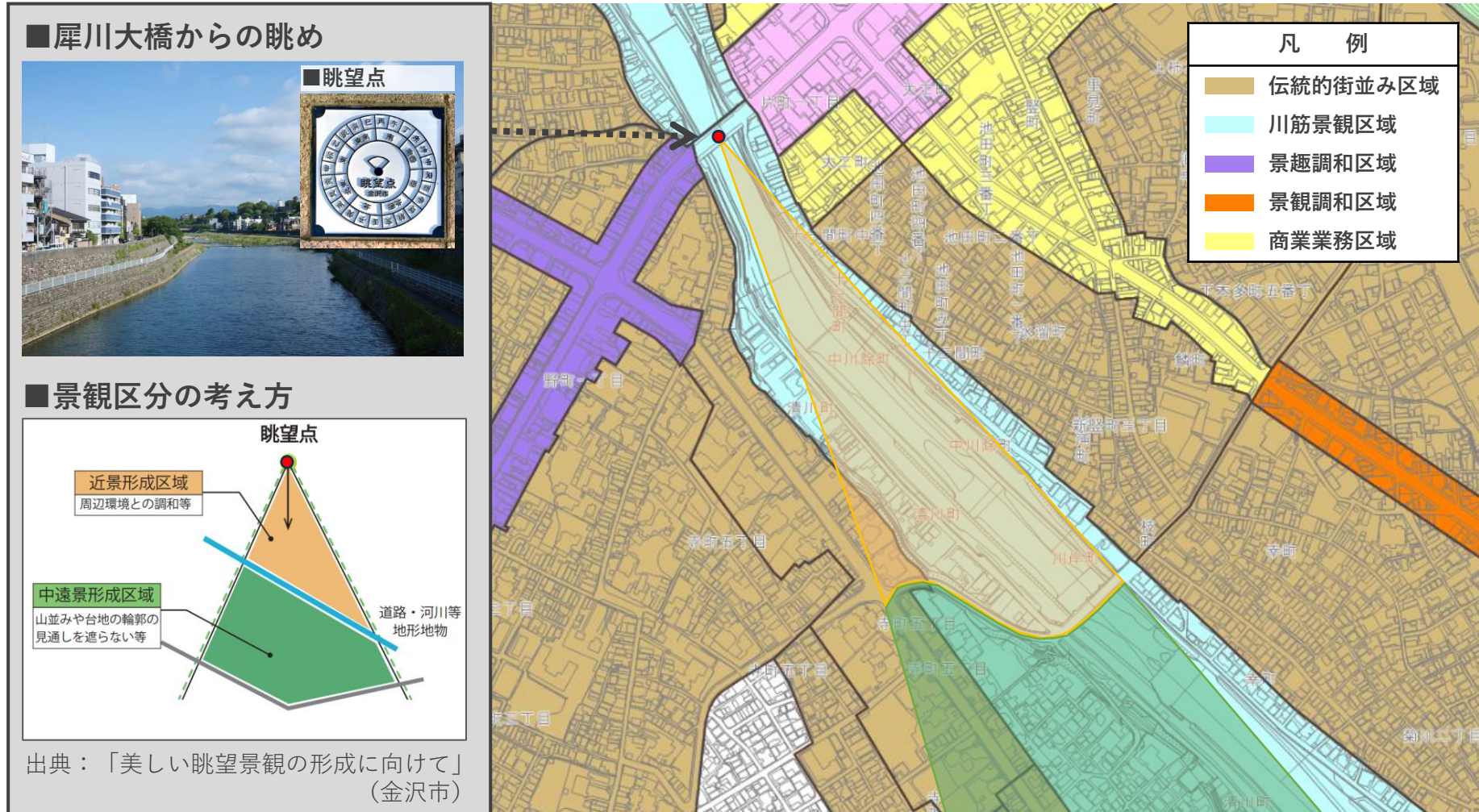
- ・ 右岸側：住宅街（池田町・中川除町等）と複数の商店街（片町・竪町・新竪町）
- ・ 左岸側：寺町寺院群（約70の寺社、金沢最大規模）



出典：石川県 都市計画基礎調査

(5) 景観

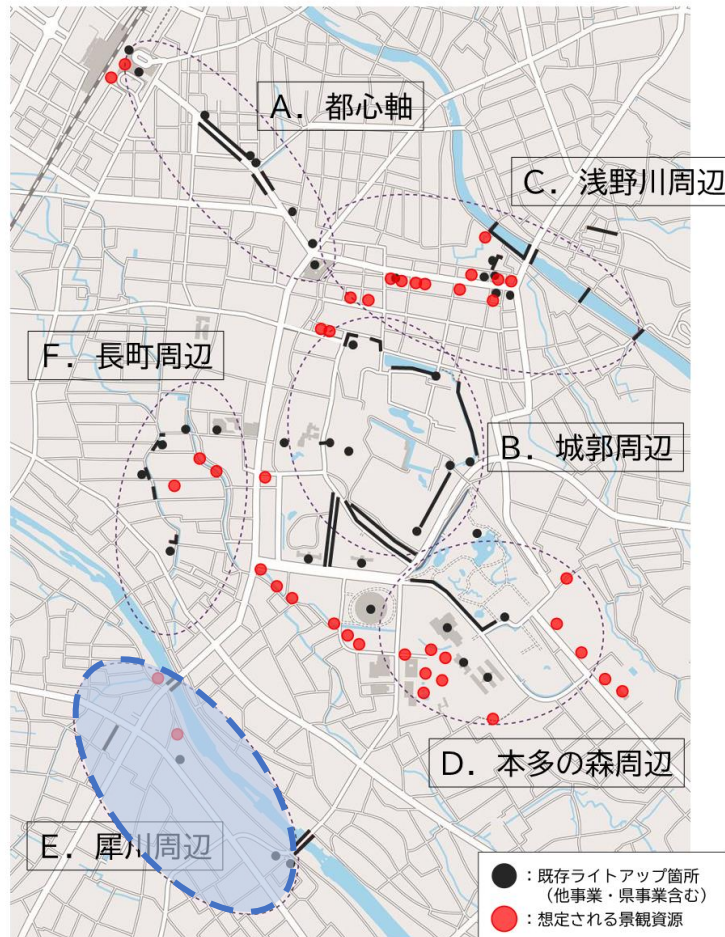
- 対象エリアは川筋景観区域、その周辺は伝統的街並み区域に指定
- 犀川大橋から上流側への眺めは、眺望点として指定



(6) 夜間景観

- ・ 「まちの風情を感じる夜間景観アクションプログラム」で「犀川周辺」を位置付け
- ・ 夜は全体的に暗く賑わいが少ない
- ・ 河川沿いのライトアップに関する設置手法等の検討を課題として明示

エリア図



2. 犀川周辺エリアの概況

10

(7) 防災機能

- ・ 拠点避難所：旧新豎町小学校
- ・ 指定避難所：新豎町公民館
- ・ 防災まちづくり協定：幸町地区防災まちづくり協定（令和6年11月締結）



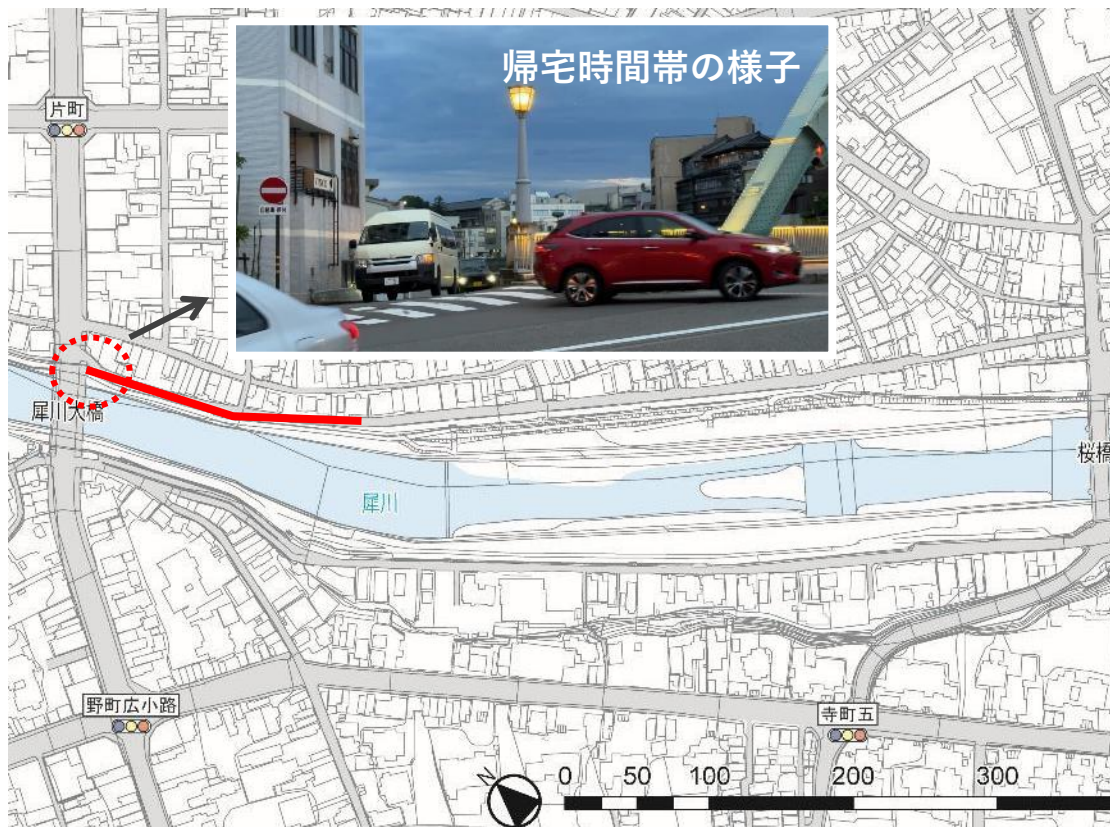
(8) 周辺道路

- ・対象エリアをなぞるように歴史が感じられる道・ルートがある



(9) 交通

- ・ 犀川大橋詰から桜橋に向かう右岸約200m区間は歩車分離されておらず、交通量が多い
- ・ 桜橋右岸下流河岸緑地前に、城下町金沢周遊バスの停留所とまちのりポートの設置があり利用者の滞留が見られる



3. これまでの経緯

13

【金沢市】

- ・「犀川かわまちづくり計画」（令和3年国登録）に基づき、犀川大橋－桜橋間を利活用重点区間として位置づけ
- ・かわまちづくり計画の推進主体として関係団体、地域住民、行政等で組織する「犀川利活用推進協議会」を設立
- ・ワークショップや社会実験の実施を通して、官民連携のもと日常的な利活用を促進



犀川河川空間利活用社会実験「サイガワリバーサイドアクト」実施の様子

3. これまでの経緯

【石川県】

- ・ 河川管理者として、河川敷の芝生や公園施設を維持管理
- ・ 「犀川かわまちづくり計画」に基づき、遊歩道の拡張や親水護岸等の整備等を順次実施（市の利活用促進と連動）



3. これまでの経緯

【国（金沢河川国道事務所）】

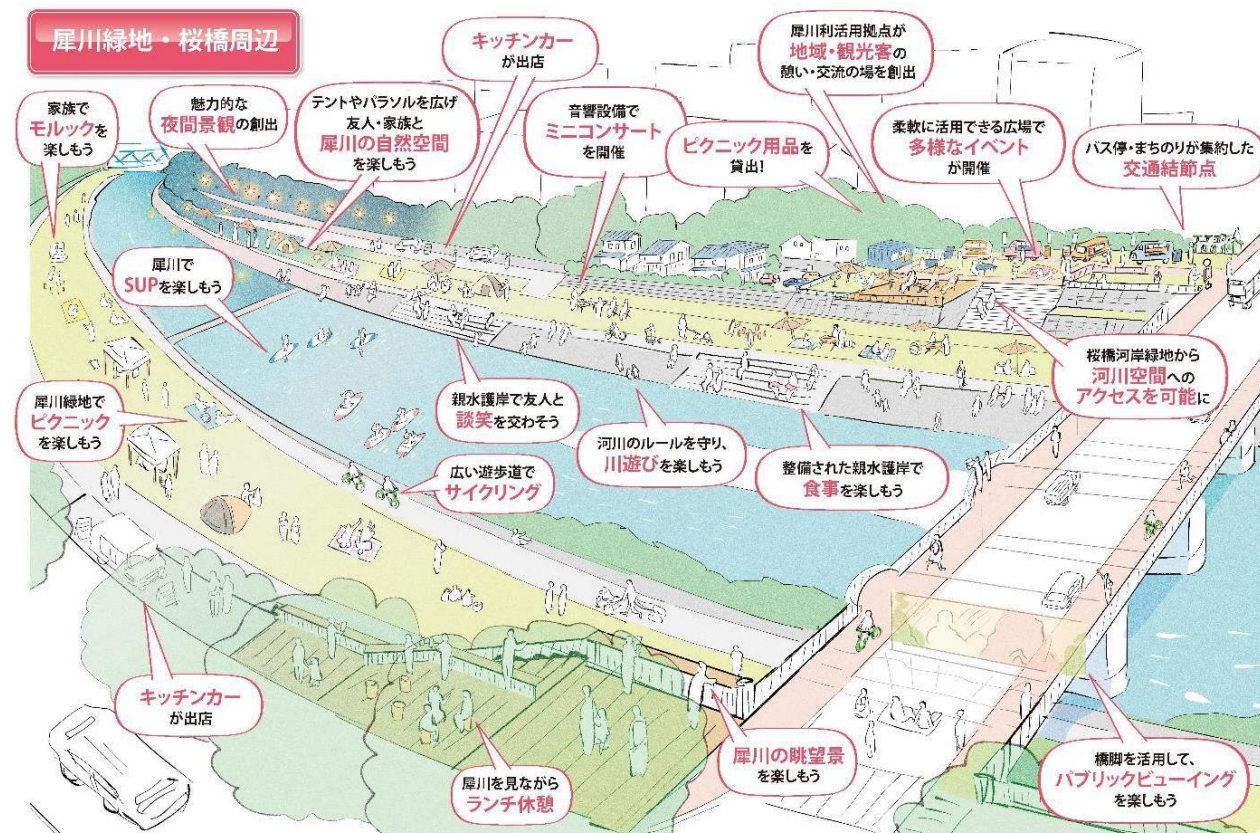
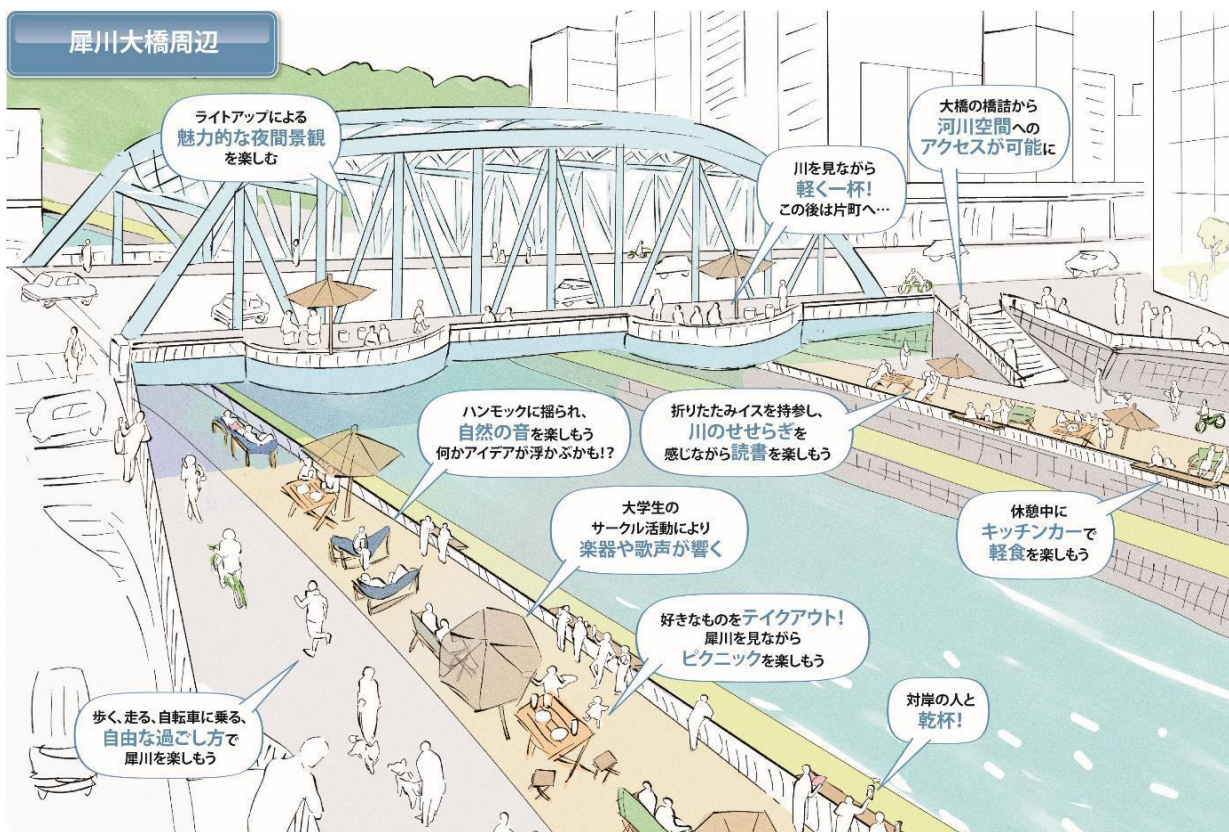
- ・ 犀川大橋の管理者として地元の商店街や町会等からなる金沢片町まちづくり会議等と連携し、賑わいを創出
- ・ 令和6年7月には犀川大橋100周年を祝う「犀川大橋百寿祭」を実施



3. これまでの経緯

16

- これまでの社会実験の検証結果等を踏まえ、犀川利活用推進協議会がとりまとめ
（「犀川河川空間利活用イメージパス」令和6年10月市長報告）



まちなかの貴重な親水空間である犀川周辺（犀川大橋－桜橋間）一帯として
日常的に利活用できる環境を整え、市民や来街者の回遊性の向上を図り新たな魅力を創出

現状と課題

現状（エリアの特性）	課題	地域の動き等
<ul style="list-style-type: none"> ・ まちなかの貴重な親水区間 ・ 川筋景観、夜間景観を創出 ・ 右岸には商店街・住宅地、左岸には寺町寺院群などが立地 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 犀星のみち（犀川大橋北詰付近）の歩行環境（歩車分離、自動車） ・ 夜間が暗く賑わいが少ない ・ 桜橋右岸下流河岸緑地（未整備） ・ 河川空間の官民連携による日常利用の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 犀川利活用推進協議会による利活用検討（桜橋右岸下流河岸緑地、犀星のみち、河川敷 等） ・ 幸町地区防災まちづくり協定の締結 ・ 犀川かわまちづくり計画に基づく河川空間におけるハード整備（県）

（案）方向性

犀川周辺エリアにおける回遊性の向上や新たな魅力の創出

整備基本計画における検討の視点

回遊性の向上

- ・ 犀川大橋周辺⇄桜橋周辺の賑わいの連続性
- ・ 河川空間へのアクセス性の向上

新たな魅力の創出

- ・ エリアにふさわしい夜間景観のあり方
- ・ 桜橋右岸下流河岸緑地の活用

地域の安全安心

- ・ 防災・減災対応力の強化
- ・ 昼も夜も安心してそぞろ歩ける歩行環境 など

- ・ 現状と課題についての補足事項
- ・ エリアに必要な機能、想定される活用

など

第1回会議（本日）	現状と課題の整理
-----------	----------

第2回会議	整備基本計画の骨子案を提示
-------	---------------

第3回会議	整備基本計画（案）をとりまとめ
-------	-----------------

年度内	整備基本計画策定
-----	----------
